

2018年2月26日作成（3月8日更新）

## 2018年度事業計画・目標

### \*は新規取り組み

#### (1) 定例研究会（例会）を4回開催する

- 1) 第27回研究会：5月23日，第10回定時総会後に開催予定．2件の講演予定．
- 2) 第28回研究会：9月25日，東京開催予定．3件の講演予定．
- 3) 第29回研究会：11月頃，名古屋or 浜松で開催予定，3件の講演予定．
- 4) 第30回研究会：1月または2月に東京で開催予定，3件の講演予定．

\*各例会で、会員企業のPR，課題提供を盛り込む．

\*会員以外の有料参加の勧誘に積極的に取り込む．

\*各研究会後の懇親会情報交換会で、親睦を深め、情報交換を行う．

#### (2) 特別例会の検討\*

会員が増え、一般の企業様の工場見学人数の上限を超える事態になっており、定例の例会は、講演を中心とする未会員様も参加できる会として実施し、これ以外に年1～2回程度、会員限定で、申し込み先着順の工場見学を含む特別例会を検討する。

#### (3) 情報発信

- 1) レターを2回（7月（第22号）、1月（第23号））発行する
- 2) 「加飾の基礎と最近の動向2019年版」の書籍の発行を検討する．
- 3) 新HPを軌道に乗せ、複数者でタイムリーに更新できるようにし、これまでの特定者のみからの情報発信から、多くの会員による情報発信に発展させ、充実させる．\*

#### (4) 会員の拡大

2018年度は、これまでに開拓が進んでいない分野の開拓に注力し、法人、個人で、20社の純増を目標とする．

参考：2016年総会時：14社、2017年総会時：35社、2018/2/末：66社

\*会員個人の各種展示会でのブース訪問、講演、展示会、関係者との接触などで、加飾研のPR、会員勧誘を積極的に行う．（会員各自に協力をお願いする）

#### (5) 加飾技術の調査・研究・開発に対する支援に取り組む．

- 1) 例会で、会員の技術紹介、課題提供を行う場を設ける．
- 2) 個別に、技術相談、技術支援を受付け、会員を中心とする適切な人材による対応を行う体制を整え、行動を開始する．（本件は、原則、有償対応とし、その対価などは内規で定める）\*
- 3) 産学連携支援業務（相手先の選定や内容などの調整）、知財支援業務（特許、商標、その他知財に関する助言対応）、人材育成事業について、今後に向けた事業のスタディを行う．\*

#### (6) 2018年に続いて、コンバーティングテクノロジー総合展2019に参加資料、サンプル、書籍等で、加飾技術研究会のPR、加飾技術・加飾の意義の啓発を行うとともに、来場者の加飾関係の技術相談を実施する．会員様のPRもできるようなブースの見直し検討を行う．

- (7) 加飾技術研究会を一般社団として法人化する. \*
  
- (8) 外部団体との交流を充実する.
  - 1) 「日本工業出版 (プラスチック)」、「プラスチックスエージ」、「加工技術研究会」、「富士経済」などのメディアとの関係を深める.
  - 2) その他、日本、海外 (中国、台湾、韓国) の関係団体との交流を模索し、関係を深める. \*

以上